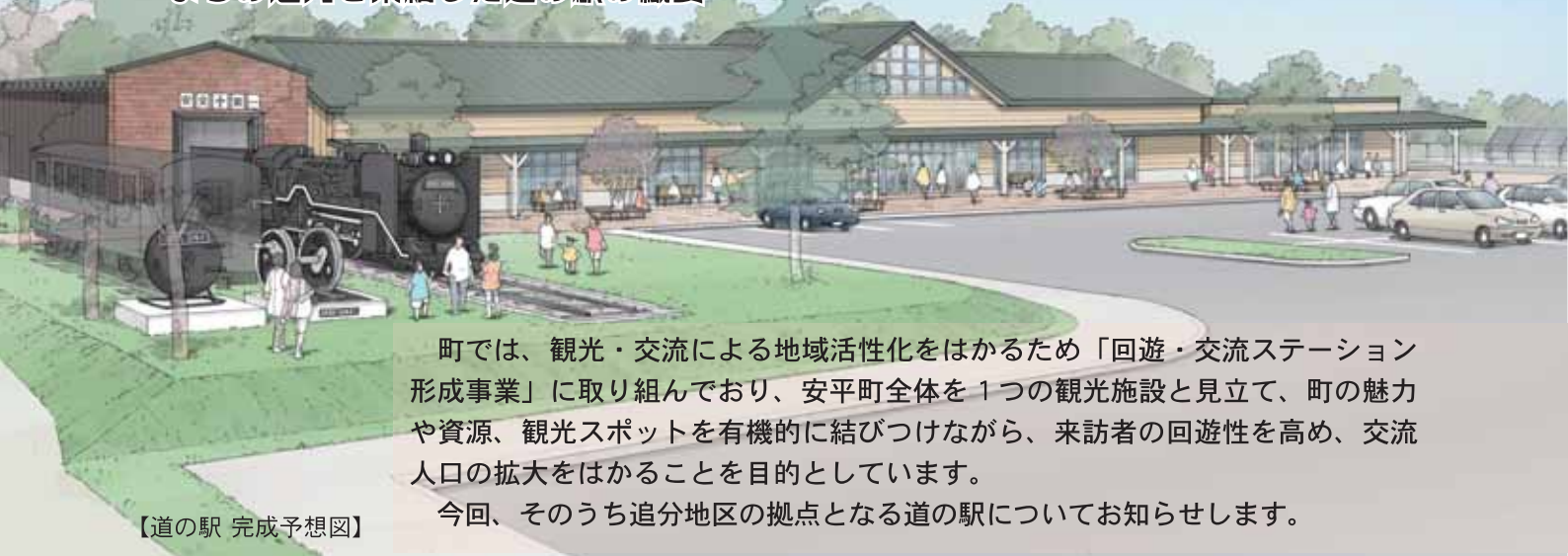


道の駅の完成予想図をお知らせ！

～まちの魅力を集結した道の駅の概要～



【道の駅 完成予想図】

町では、観光・交流による地域活性化をはかるため「回遊・交流ステーション形成事業」に取り組んでおり、安平町全体を1つの観光施設と見立て、町の魅力や資源、観光スポットを有機的に結びつけながら、来訪者の回遊性を高め、交流人口の拡大をはかることを目的としています。

今回、そのうち追分地区の拠点となる道の駅についてお知らせします。

私たちが住む安平町には、時間をかけて先人が育んできた「農産品」「特産品」「歴史・文化」「風景」など、他にはない地域の『強み』が多数あり、これらはこの町に住む多くの「人」によって支えられています。

これらの『強み』は、人を集客するだけの潜在能力がありますが、地域に分散しているため、新千歳空港や苫小牧港などの北海道の玄関口や札幌エリア等の都市圏に隣接していながら、その力を十分に活かしきれていない状況にあります。

建設する道の駅では、地域の『強み』である質の良い農産品や特産品、歴史・文化、そしてこれらを支える人の力をこの場所（ステーション）に集結させて、相乗効果によって更に価値を高め、町内外の人々との交流・つながりを生み出し、町全体の活性化を目指します。

4つのステーション機能

食の魅力発信ステーション機能

町内の農畜産品や加工品をはじめとした優れた特産品を集結させて、PR強化と販路拡大をはかります。

交流促進ステーション機能

町民と町外からの来訪者を集結させて、都市と農村の交流を促します。

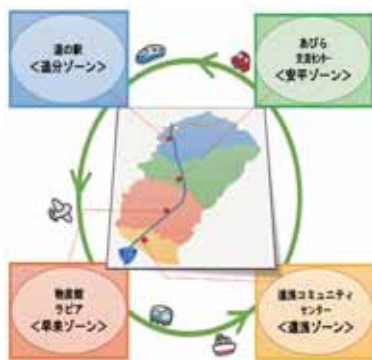
観光情報ステーション機能

季節に応じた観光ルートや施設情報等を集結させて、来訪者へ効果的に発信し、町全体への回遊を促します。

文化・歴史ステーション機能

全国有数の保存状態を誇るS

L車両や歴史文化に関する貴重な資料と映像を集結させて、来訪者の地域理解につなげます。



道の駅に開設するコーナー

①無料休憩コーナー 来館者が快適にゆつくりと利用できるよう、充実した休憩空間を確保します。また、一部スペースには

昭和中期の駅舎を再現し、SLが活躍した時代の懐かしい雰囲気を出します。

②SL車庫 「D51・320」型蒸気機関車をはじめ、現在鉄道資料館に展示している資料を移設し、町の発展を支えた鉄道文化を後世に伝えます。また、車庫内にはピットを設け、SLの車両を下から見学できる造りとしています。

③テイクアウトコーナー 地場産品を活用した当地ならではの軽食やスナック類、ドリンク等を提供します。

④ベーカーリーコーナー 来訪者の需要が高いパン類を販売するコーナーを設けます。人気度の高い一般商品のほか、町の特産品をトッピングしたオリジナル商品のメニュー化を目指します。

⑤特産品販売コーナー チーズや菓子類、農産物加工品や食肉加工品など、町の特産品を幅広く揃え、来館者へ地場産品をPR販売します。

⑥農産物直売所 町内で生産される新鮮な農畜産品を販売します。なお、夏期は直売所での販売を、冬期は道の駅本体施設での販売を想定しています。

これまでの経緯と集約した意見

経緯

実施設計の完了までに、次のとおり町民の皆さんとの意見交換や説明会を開催

年/月	項目	内容
26.11	『あびら夢・未来 100 人町民フォーラム』開催	「地域を豊かにする魅力ある道の駅にするために（地域活性化に必要な道の駅を考える）」をテーマに、町民参加による意見交換を目的としたフォーラムを開催。
27.3	道の駅「基本設計」完了	敷地に対する建物の配置、間取り、外観、面積、概算工事費など、道の駅全般のイメージがまとまる。
27.5	重要施策説明会（全 10 回）	基本設計の内容を元に、町民の皆さんへ道の駅の概要説明を行う。（4 地区で全 10 回）
27.6	重要施策説明会（全 2 回）	基本設計の内容と上記説明会の質問事項を踏まえ、町民の皆さんへの説明を行う。（2 地区で全 2 回）
27.8	道の駅「実施設計」業務開始	基本設計を元に、実施設計業務に着手。
27.8 ～ 12	道の駅検討部会での協議	道の駅検討部会として、分野ごとに「販売部会」「デザイン部会」「農産物直売所部会」「鉄道部会」を発足。各部会とも、町民や役場職員でメンバーを構成して意見交換を行い、協議結果を実施設計に反映させる。
28.3	道の駅「実施設計」完了	完成予想図や平面図等の各種図面が完成。

意見

意見交換会や検討会での意見や提案、協議結果を可能な限り実施設計に反映

会議名・開催時期	協議・意見交換した内容	設計に反映させた項目
『あびら夢・未来 100 人町民フォーラム』 〔H26.11 月〕	◇高齢者と町民にとって安らしいくつろげる交流空間を整備する ◇「町内の名所や安平の四季」等の大型パネルを使った情報コーナーを整備する ほか	○一部スペースに昭和時代の駅舎を再現しながら、休憩空間を充実 ○観光スポットや特産品、文化歴史等を発信するパネルのほか、動画放映のためのモニターを設置
道の駅検討部会 「販売・デザイン部会」 〔H27.8 月～ 11 月（全 3 回）〕	◇テイクアウトコーナー等での販売商品について ◇施設周りの活用方法について ほか	○季節に応じた地場産品を活用したメニューを想定し、厨房を設計 ○来訪者の休憩機能やイベントでの活用を想定し、スペースを確保
道の駅検討部会 「農産物直売所部会」 〔H27.8 月～ 12 月（全 4 回）〕	◇農産物直売所施設に必要な機能について ◇商品を納入する上での配慮点について ほか	○水まわりの設備や販売管理システム等、必要な機能を設計に反映 ○搬入車両巡回場所や倉庫スペースの容量に配慮し、設計
道の駅検討部会 「鉄道部会」 〔H27.9 月～ 12 月（全 3 回）〕	◇プレートや写真等の鉄道資料の展示方法について ◇SL 牽引車稼働時の安全性について ほか	○SL 車庫内壁面を展示スペースとして活用できるよう設計 ○SL 車庫後部にシャッターを設け、壁面衝突を防ぐ造りとした



【オープンまでの流れ】

- ・ H29 建設工事 1 年目（基礎工事）
- ・ H30 建設工事 2 年目（外構、内部工事、SL 移設 ほか）
- ・ H31 春オープン予定

今後の協議内容

今年度は、2つの点に重点を置いて協議を進めていく予定です。

(1) **運営体制に関する協議**：町内の回遊・交流の促進策とともに、道の駅の運営手法・体制の協議を行う場として「回遊・交流戦略検討会」を設置し、関係団体の皆さんにもご参加いただきたいながら、道内道の駅の運営事例等を参考に、当町の道の駅にとって相応しい運営手法と体制を検討していきます。

(2) **安全対策に関する協議**：周辺道路や駐車場内の安全対策に万全を期すため、北海道警察本部や北海道開発局室蘭開発建設部との協議を重ねていきます。